

令和7年度 上市町総合教育会議 会議記録

日 時 令和8年2月26日(木)
9:00~10:06
場 所 上市町役場2階第1会議室

[出席者] 町長、教育長、教育委員(4名)
事務局(総務課長、教育委員会事務局長)

1 開会

2 町長あいさつ

議題である教育大綱の改訂については、教育委員会で事前に協議をされたとのことであるが、私からも意見を述べさせていただくので、それに対し皆さまからもご意見を伺いたい。

3 議事

教育大綱の改訂について

[事務局より説明]

現大綱が本年3月をもって満了となるため、令和8年度から12年度までの5年間を対象とした改訂を行うこののである。改訂にあたっては、第8次上市町総合計画後期計画の見直し内容に沿った形となるように作業を進めてきた。

また、令和8年度より新たに設定する町教育理念「明日を拓く高い人間性の実現」、そして義務教育学校創設に向けての基本構想の内容を盛り込むとともに、学校統合により地域での地区公民館の役割が大きくなることから、地区公民館を中心に多世代が活動できる環境づくり、中学校の部活動の地域展開に係る取組みを入れ込んでいる。

(町長)

これまでの大綱と比較すると義務教育学校整備の流れを反映した具体的な記述がされている。社会教育についてもこれまでよりも大きく踏み込んだ内容となっているようである。多様性の問題や、西田美術館との共同展開催など改訂中の町総合計画に沿った内容であり、問題はないと思う。

公民館での多世代事業とは、どういうものを想定しているのか。

(事務局)

現在、メニュー化事業と称して、例えば防災教室など、多世代で参加できるメニューを実施する公民館には別に委託料をお渡しするなど、今後の学校統合に向け取り組んでいる。

(町長)

自分は教育の内容にまで踏み込む気はないが、先生方の働き方改革はやっていくべきと考えている。

(教育長)

県教育委員会へ調査物など提出物の軽減についても伝えていきたい。

(町長)

そのような声を上げていかないといけない。

4 報告

上市町立学校の教育職員に関する事務量管理・健康確保措置実施計画の策定について
[事務局より報告]

町教育委員会では、これまでに学校開錠業務の見直しや水泳授業の民間委託、教員人材バンクの導入、部活動の地域移行など、負担軽減に取り組んできた結果、時間外勤務は大きく減少している。

しかしながら、年間360時間を超える教職員が一定数見られることから、時間外勤務とワーク・ライフ・バランス等に係る目標を設定したものである。

(町長)

業務改善の取組みを教育委員会が仕切って、しっかりとやってもらいたい。

(委員)

上市は他に比べ効果を挙げてると思う。もちろん、まだまだ改善の余地はあると思うが、本来注力すべき授業づくりに時間を充てることで、児童生徒に還元してもらえればと思う。

(委員)

業務過多にならない限りにおいて、働きたい人が働ける環境づくりも必要なのではないか。働き方改革によってできた時間を新たな取組みに使いたい人もいるのではないか。それを認める、できる体制づくりも必要なのではないか。

(委員)

学校での様子を見ていると、職員が話し合う時間も欲しいのではないかと思う。そのような余裕を作ればと思う。

5 閉会